

# Watching Carefully



## ボロはキても、秋の祭典

@京都大学西部講堂

取材・文・撮影／トリアウト

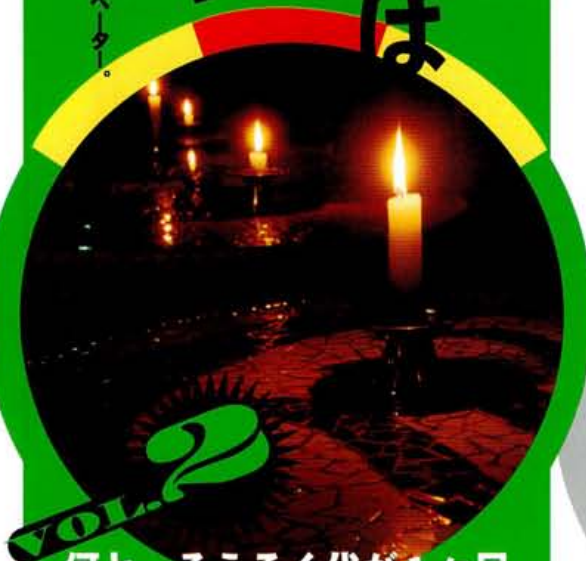


クラムボン、ギターウルフ、ロボピッチャー、PEALOUT…。ナニ始まるん？どないしたん？ってなファンキー&ギャングな個性派バンドが一堂に京のまちに集結した秋ウララな2DAYS。やっば行かないワケにいかない！っといざ潜入。京都にて、音楽を中心とした「シーン」を創出するインディペンデント団体「にしき屋」。今宵はチャレンジャーとも言うべきか？ 来訪者数2500人を見込んだ超ド級のビッグイベント、ズバリ「祭り」を開催した。会場には昨今その復権著しい京大西部講堂。FPMをはじめ、あのスティングも来日公演を行った京都の伝説のハコだ。「身内ノリになるのはイヤ」。あえて知り合いを避け、イイ音楽を放出するアーティストに交渉。2日間で計12バンドが出演、各日のトリにクラムボンとギターウルフを迎え入れることを実現させた。インディーズとメジャーとの融合で生まれた新たな世界。インディーズシーンの活性化、すなわち純粋に音楽好きが集結した今イベント。耳を傾けるフロアの年齢層は幅広く、フラー一人の来場者もちらほら。初日は男女問わず人気のアーティスト陣放、全体の約5割がカップル。会場内のカフェスペースで心地よい音楽にマッタリと陶酔していた。ステージ、音響、照明…。何もなければ口からの構築を強られる西部講堂。「Do it yourself」を謳わないワケにはいかない、ただのハコを相手に「どこまで極められるか？ それがいベーターとしてのこだわりだし、音楽好きが音楽好きのためにやるイベントになると思うんです」と主催者の一人、ゆーきゃん。西部講堂が今も「ただのライブスペースでない」ことを再確認する一夜となった。



# 永く愛されるには 理由があります

木犀町に産声を上げて早8年、  
僅しけなろうそくの灯りの中、  
円卓を囲むスタイルが今も愛され続けるイノベーター。  
仲間同士、愛でくつろぐ感じが支持される。  
ラストの真の魅力が解き明かしていきます。



**VOL.2**

何と、ろうそく代が1ヶ月  
10万円なんです。

レゲエの原点を尋ねてゆくと、最後は原始生活に辿り着きます。人がまだ優しかった頃、時がゆっくり流れていた頃、人々は今日一日の食べ物を仲間同士で分け合いながら、原始の洞穴でおしゃべりしたことでしょう。そんな頃を今に再現しようとした時、このろうそくの灯りがどうしても必要だったと思ったのです。日常から遠ざかり、揺らいだ火に照らし出された壁面を眺めているとそんな異次元空間を感じて貰えるはず。それにしても、ろうそくは高くつくものです。



8年間のご愛顧に感謝!!  
皆様が未広がりになり  
ますように...  
2000円以上お食事の方に500円金香港星♡

レゲエの居酒屋 **ラスト**

京都市中京区河原町通三条下ルBALビル横東入ル北側 クラリオンビル5F  
TEL.075-256-4567 営業時間 18:00~5:00



A 初日のトリを稼げたクラムボン。ニューアルバムからの新曲オンパレードからアンコールまでお得意満面のステージを好演  
B 心に染み入るウィスパーボイスで語りかけるように歌い上げるゆーきゃん。「実はダメ人間賛歌なんですけどね(笑)。そんなことはないです」  
C お自当ではクラムボンという京都芸術大1年の佐々木彩さん。「決まった感じが無いのが好き」。ファンともどもちょっと不思議キャラが多い?  
D 「僕たちカフェでしか会わないカフェエです(笑)」というSSPの伊藤さん(左)とSPACE LABの田中さん。出張etwも抜かりなくチェックとはさすが!  
E 自ら率いるバンド、ロボピッチャーの出番が終了し、ほろ酔い気分だった「にしき屋」代表の加藤氏。「こんなんで大丈夫っすか?」、グッジョブです  
F 特異なイデタチでかなり目立っていたチャーシューさん。「灯りが見えたので、フラリと来ちゃいました」。うらう、かなり上級者...  
G クラムボンとHermann H.&The pacemakersファンの下村さんは夢中からご入浴。「そんな接客されたら困っちゃいますね」。仕事なんで、ハイ  
H クラムボンの大ファンという家事手伝いのヨシエさん。さっさからかなり飲んでますよね? 「実は二日酔いなんです(笑)」。尊敬!  
I 「ゆーきゃん、応援してます」とは、ゆーきゃんとコンビニでバイトが一緒だったという成安造形大2年のシバさん(左)と、京産大2年のマリコさん  
J カフェスペースに雇われたスクリーンのVJを担当していたアコさん。「実は普段、DTPの講師をしています。生徒がうらやましいっす  
K お付き合い2年半、未だに古着ジャージのペラルックでアツアツな京大4年のオオキさんと京女大4年のアヤコさん。やっぱり、ボロはキてもってこと?  
L 今イベントに協力しているetw。出張カフェでサブ業務に徹していた同志社女子大2年のユミコさん。「このカウンターは全部手作りなんですよ」  
M 西院のウーララで働くメグさん(左)と幼馴染のトモコさん。「ちょっとパジャマみたいよね〜」というピンクのパーカは講堂外のフリマで600円

